

令和5年度

年報



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館



目 次

I ようこそ安曇野市豊科郷土博物館へ 博物館の概要..... 3

- 1 開館からの略歴
- 2 当館の目指すところ
- 3 令和5年度・活動方針
- 4 施設の概要
- 5 令和5年度予算
- 6 入館者数と内訳

II 企画した展覧会及び関連事業 5

- 1 企画展・友の会展
- 2 講座・学習会
- 3 出前講座・展示説明
- 4 友の会活動

III 写真でたどる年間活動 13

- 1 企画展
- 2 友の会展
- 3 ブックレット4発刊記念講演会
- 4 こたつ講座
- 5 ワークショップ・講座
- 6 出前講座・展示説明
- 7 友の会活動
- 8 その他

IV 新市立博物館出前展示 22

V 学芸員実習の受け入れ 22

VI 調査研究・広報活動への取り組み 22

VII 収蔵している資料の整理 資料の活用に向けて 23

VIII 新たな収蔵資料 24

IX 当館に寄せられたみなさまのご意見 利活用者からみる外部評価..... 24

- 1 夏季企画展
- 2 春季企画展

X 博物館のこれから 27

表紙写真 上：夏季企画展現地見学会
「黄泉の国を覗いてみよう～魏石鬼岩窟・陸塚の見学～」
下：春季企画展「はくせい動物園」ギャラリートーク

1 開館からの略歴

昭和54年4月	多くの文化遺産の継承を使命とする生涯学習の場として豊科郷土博物館が開館しました。翌年、登録博物館になりました。以来、収蔵している自然・歴史・民俗・芸術等の資料を収蔵展示するとともに、各種企画展示を開催してきました。友の会を核とした活動も活発に続いています。
平成17年10月	5町村の合併により安曇野市が誕生しました。当館は財団法人による指定管理のもと、市唯一の博物館としての活動を継続してきました。
平成24年4月	安曇野市の直営施設となり、市の主要文化施設として文化の発信と地域に根付いた活動を行い現在に至っています。平成25年度、屋根とトイレを改修し常設展示を替えて、平成26年3月のリニューアルオープンを経て、平成29年3月、4年ぶりのリニューアルオープンをいたしました。
平成27年11月	安曇野市新市立博物館構想策定委員会で検討策定された新市立博物館構想が安曇野市長への提言として示されました。新規建設される市立博物館の基本的内容が明示され、それを受けた市は15～20年後の新博物館開設を発表しました。平成28年、新市立博物館準備室も豊科郷土博物館内に設置されました。

2 当館の目指すところ

郷土安曇野の自然・歴史・民俗を対象に庶民の生活にかかわる資料の収集・収蔵・管理に努め、それらの資料の調査研究を行い、その研究成果を展示することを心がけています。展示は人々の心と生活の豊かさに寄与するとともに、新たな文化創造に向けた土壌作りも目指しています。併せて、活動する博物館として生涯学習の場を提供し推進することも大切な目標とします。

自然と人々の営みが生み出した安曇野の文化を市民とともに「守り」「育て」「創る」という新市立博物館構想の基本理念に沿った活動を心がけます。

3 令和5年度・活動方針

安曇野市の基幹総合博物館として、新市立博物館構想の方向と連携を保ちながら、以下の方針で進めました。

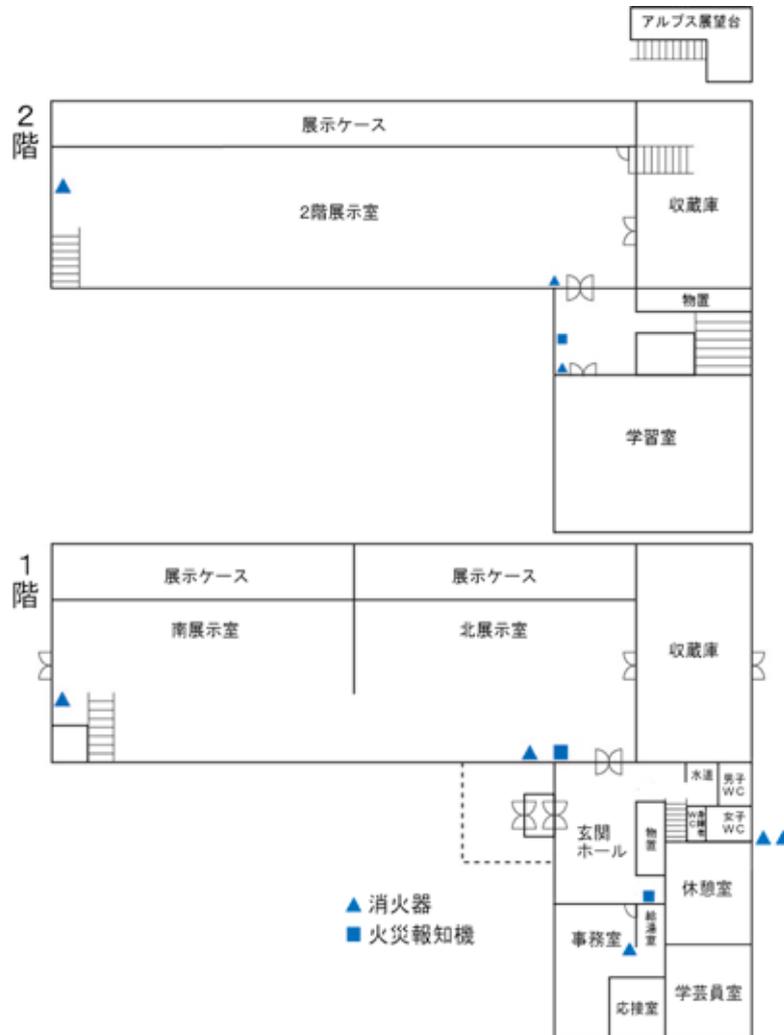
- ◆市民の教育と文化の向上と輝かしい未来を創造する力を培うため、新市立博物館建設準備室、市図書館、穂高郷土資料館、市文化財資料センター等の関係機関との連携をし、様々な活動を創意工夫しながら博物館の研究成果を広く市民に還元していきます。
- ◆このような理念に基づいて博物館活動を行うため、貴重な資料の収集、その資料に基づく精緻な研究、その成果としての展覧会の開催、さらに市民に情報を提供する教育普及活動などの諸活動を積極的に行います。

4 施設の概要

■敷地面積 2,016㎡

■建物（鉄筋コンクリート造2階建）面積 747㎡（延床面積 1,020㎡）

■平面図



5 令和5年度予算

総額 約33,199千円

本年度は企画展解説パネル等製作費・研究紀要等刊行物印刷費・施設修繕費・機器リース料・電気代等光熱費・人件費等に使われています。

6 入館者数と内訳

入館利用者総数	8,367人	（令和4年度数	9,226人	対前年度比率	90.6%）
有料入館者数	1,504人	（令和4年度数	1,711人	対前年度比率	87.9%）
児童生徒入館者数	2,067人	（令和4年度数	1,676人	対前年度比率	123.3%）

II 企画した展覧会及び関連事業

1 企画展・友の会展

(1) 企画展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	入館者数
	春季企画展「すばらしき野良着」 (令和5年3月18日～5月21日)(宮本 尚子)	4月1日(土)～5月21日(日)44日間	企画展示室	769
1	夏季企画展「古代・中世の墓を覗(のぞ)く・・・ 人は死者をどう扱ってきたか。・・・」(原 明芳)	7月22日(土)～9月18日(月)51日間	企画展示室	1,185
2	春季企画展「はくせい動物園」 (松田 貴子)	2月23日(金)～3月31日(日)32日間	企画展示室	1,376

入館者合計 3,330

(2) 友の会展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	参加者
1	第39回山草・サクラソウ展	5月3日(水)～5月5日(金)3日間	学習室	80
2	第37回写真展・第18回ポタニカルアート展	6月3日(土)～6月18日(日)14日間	企画展示室	351
3	第20回絵手紙展	11月11日(土)～11月26日(日)13日間	企画展示室	200
4	第69回書芸展・第9回戦時生活展	1月13日(土)～1月28日(日)14日間	企画展示室	321

入館者合計 952

2 講座・学習会

(1) 企画展関連講演会・講座

No.	講座名	開講日	講師	場所	参加者
1	「伸子針で洗濯しよう」 (春季企画展ワークショップ)	4月16日(日)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	7
2	ギャラリートーク (春季企画展)	5月13日(土)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	3
3	「綿の手紬コースター作り」 (春季企画展ワークショップ)	5月14日(日)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	8
4	「仕事着から見た人々の暮らし」 (春季企画展講演会)	5月20日(土)	福澤 昭司 (長野県民俗の会)	豊科公民館大会 議室	36
5	「布ぞうり作り」 (春季企画展ワークショップ)	6月11日(日)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	鐘の鳴る丘集会所	11
6	「安曇野の古墳をめぐるって・・・群集 墳て何?・・・」 (夏季企画展シンポジウム)	8月5日(土)	風間 栄一 (長野市埋蔵文化財センター) 関沢 聡(松本市教育委員会) 白居 直之(安曇野市教育委員会) 原 明芳(豊科郷土博物館長)	豊科公民館	52

No.	講座名	開講日	講師	場所	参加者
7	ギャラリートーク① (夏季企画展)	9月2日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	13
8	「古代・中世の墓は何を語るのか・・・ 現在の、未来の墓を考えるヒント?・・・」(夏季企画展講座)	9月9日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	39
9	ギャラリートーク② (夏季企画展)	9月16日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	14
10	「黄泉の国を覗いてみよう ～魏石鬼岩窟・陵塚の見学～」 (夏季企画展現地見学会)	3月9日(土)	原 明芳・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	魏石鬼岩窟・陵塚	20
11	アニマル・トラッキング (春季企画展観察会)	3月24日(日)	植松 晃岳 (信州野鳥の会会長)	烏川溪谷緑地	19
12	「生きもの切り紙とギャラリートーク」 (春季企画展クラフト)	8月21日(日)	松田 貴子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	14
13	トーク①「古くからの隣人『里山動物』」(春季企画展)	3月30日(土)	丸山 隆(動物写真家)	豊科郷土博物館	24

参加者合計 260

(2) 主催講座・イベント

①ブックレット4 発刊記念講演会

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	「海の向こうから見る日本の草原」	7月8日(土)	いがり まさし(植物研究家)	豊科交流学習センター	54

参加者合計 54

②こたつ講座

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	「信州の植物学の系譜 ～『らんまん』の時代の人々～」	12月9日(土)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	15
2	「イエジマイ・ハカジマイ」	12月16日(土)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	21
3	「『叛逆』の武将?仁科道外～戦国大名武田氏の安曇郡侵攻を軸として～」	1月13日(土)	逸見 大悟 (教育委員会文化課)	博物館学習室	28
4	「『食べる』から見る家族のかたち」	1月20日(土)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	20
5	「空家今昔物語 ～空家の問題を紐解く～」	2月3日(土)	幅 拓也 (教育委員会文化課)	博物館学習室	18
6	「『ハイトリック』ってなあに? えっ、自動罅獲器!？」	2月10日(土)	窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	16

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
7	「絵地図から満願寺、そして牧村の謎に迫る」	2月17日（土）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	博物館学習室	37

参加者合計 155

③ワークショップ

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	裂き織りワークショップ	10月15日（日）	宮本 尚子 （豊科郷土博物館職員） 自然と暮らしの文化部（友の会）	鐘の鳴る丘集会所	大人6

参加者合計 6

④夏休み子ども講座

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	藍の葉のたたき染め	7月26日（水） ～28日（金）	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人23 小人31
2	切り絵で楽しもう	7月29日（土） ～8月13日（日）	豊科郷土博物館職員	博物館 1階ロビー	大人35 小人60
3	勾玉作り	8月2日（水） ～4日（金）	豊科郷土博物館職員	博物館 玄関ポーチ	大人16 小人33

参加者合計 198

⑤昔の暮らし体験教室 in 博物館

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	昔の暮らし体験教室in博物館 （豊科北小・明北小・豊科東小・ 三郷小1組）	2月24日（土）	豊科郷土博物館職員 自然と暮らしの文化部（友の会）	豊科郷土博物館	大人18 小人25
2	昔の暮らし体験教室in博物館 （穂高南小・豊科南小1組2組3組）	2月25日（日）	豊科郷土博物館職員 自然と暮らしの文化部（友の会）	豊科郷土博物館	大人28 小人36
3	昔の暮らし体験教室in博物館 （三郷小2組3組4組・穂高西小・ 豊科南小4組）	3月2日（土）	豊科郷土博物館職員 自然と暮らしの文化部（友の会）	豊科郷土博物館	大人17 小人17
4	昔の暮らし体験教室in博物館 （堀金小・明南小・穂高北小）	3月3日（日）	豊科郷土博物館職員 自然と暮らしの文化部（友の会）	豊科郷土博物館	大人17 小人17

参加者合計 175

3 出前講座・展示説明

(1) 博学協働関係

①豊科北中学校 1学年総合的な学習の時間

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	地域学習講演会	5月19日（金）	原 明芳・窪田 尚幸・ 松田 貴子 （豊科郷土博物館職員）	豊科北中学校	大人12 小人127

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
2	フィールドワーク①	5月26日(金)	窪田 尚幸・松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) 逸見 大悟・斉藤 雄太 (教育委員会文化課)	豊科北中学校 3組:歴史・民俗 豊科街中 4組:自然 田淵行男記念館	大人5 小人57
3	フィールドワーク②	6月9日(金)	宮本 尚子・窪田 尚幸・ 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) 斉藤 雄太 (教育委員会文化課)	豊科北中学校 4組:歴史・民俗 豊科街中 1組:自然 田淵行男記念館	大人4 小人64
4	フィールドワーク③	6月16日(金)	原 明芳・宮本 尚子・ 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) 斉藤 雄太(教育委員会文化課)	1組:歴史・民俗 豊科街中 2組:自然 豊科北小	大人5 小人63
5	フィールドワーク④	6月23日(金)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員) 斉藤 雄太(教育委員会文化課)	2組:歴史・民俗 豊科街中 3組:自然 豊科北小	大人2 小人31
6	テーマ追究学習 3組:戦争・祭り	9月15日(月)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	屋敷林	大人1 小人19
7	フィールドワーク⑤	9月22日(金)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	東洋紡	大人2 小人25
8	テーマ追究学習 3組:戦争・祭り	10月13日(金)	原 明芳・倉石あつ子・ 窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	屋敷林	大人2 小人38
9	テーマ追究学習 3組:戦争・祭り	10月27日(金)	原 明芳・窪田 尚幸・ 倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	豊科北中学校	大人2 小人40
10	1学年学習発表会	2月16日(金)	窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員) 斉藤 雄太(教育委員会文化課)	豊科北中学校	大人6 小人132

②豊科北中学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	科学部 「綿の栽培指導」	4月25日(火)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人1 小人4

③三郷中学校 1学年総合的な学習の時間「三郷セルフ」

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	三郷民俗資料館見学	6月2日(火)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	三郷民俗資料館	大人5 小人81
2	三郷民俗資料館見学	6月9日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	三郷民俗資料館	大人4 小人84

④堀金小学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	6 学年社会科見学 「安曇野探検」	6月9日(金)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	堀金小学校	大人2 小人72
2	ものづくり体験クラブ 綿紬・コースターづくり①	11月1日(水)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員) 自然と暮らしの文化部(友の会)	堀金小学校	大人4 小人10
3	ものづくり体験クラブ 綿紬・コースターづくり②	11月8日(水)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員) 自然と暮らしの文化部(友の会)	堀金小学校	大人3 小人12
4	ものづくり体験クラブ 綿紬・コースターづくり③	11月15日(水)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員) 自然と暮らしの文化部(友の会)	堀金小学校	大人3 小人12

⑤豊科南小学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	5 年3 組総合的な学習の時間	6月23日(金)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人1 小人29
2	5 年3 組総合的な学習の時間 博物館の役割について 植物標本について	7月5日(水)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人1 小人30

⑥豊科東小学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	3 年生「博物館見学と切り紙」	7月10日(月)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人2 小人35

⑦穂高西小学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	3 学年総合的な学習の時間 クララの草木染め①	6月6日(火)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員) 自然と暮らしの文化部(友の会)	穂高西小学校	大人11 小人74
2	3 学年総合的な学習の時間 クララの草木染め②	6月7日(水)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員) 自然と暮らしの文化部(友の会)	穂高西小学校	大人10 小人74
3	3 学年総合的な学習の時間 クララの草木染め③	6月8日(木)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員) 自然と暮らしの文化部(友の会)	穂高西小学校	大人7 小人74

⑧穂高東中学校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	あづみの学校ミュージアム	1月18日(木)	窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	穂高東中学校	大人11 小人153

⑨豊科高校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	2年生信州学講座 「安曇野の伝統について」	5月25日(木)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人9

⑩南安曇農業高校

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	公園設計のための植生観察・学習	7月7日(金)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	黒沢洞合自然公園	大人9

⑪松本大学

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	博物館学研修	5月20日(土)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人8

⑫國學院大學

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	博物館企画展見学	8月16日(水)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	大人31

⑬市内各小学校「昔の暮らし体験教室」

No.	講座タイトル	開講日	内容	場所・参加校	参加者
1	市内各小学校 「昔の暮らし体験教室」	1月17日(水) ～2月2日(金)	DVDと資料の貸出	市内各小学校 (10校中9校)	大人20 小人661

⑭その他

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	安曇野市小中学校初任者研修会 現地研修 博学協働について	7月27日(木)	原 明芳・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人25
2	小中教育課程研究協議会 「学び合う」ための授業構想と支援・ 評価のあり方 ～探究的に学び合い 続けた「中学生が創った公園」の 実践事例から～	10月6日(金)	窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	松川中学校	大人56
3	安曇野市教育会社会科同好会学習 会(まとめの会) 「地域史に関して」	2月2日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	堀金中学校	大人20

参加者合計 2,285

(2) 市内他館との連携した講座・講演会

①堀金公民館

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	堀金を楽しむ会第50回 「養蚕ロードにおける女性の働き」	6月19日（月）	倉石あつ子 （豊科郷土博物館職員）	堀金公民館	大人30
2	堀金を楽しむ会第51回 「堀金の戦争」	10月16日（月）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	堀金公民館	大人31

②穂高公民館

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	自然体験・環境講座 「上高地観察会」	6月22日（木）	松田 貴子 （豊科郷土博物館職員）	上高地	大人25
2	自然体験・環境講座 「乗鞍高原観察会」	10月13日（金）	松田 貴子 （豊科郷土博物館職員）	乗鞍高原	大人21

③豊科公民館

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	出会いふれ合い生きがいセミナー 「絵地図を楽しむ」	9月8日（金）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	豊科公民館	大人24
2	出会いふれ合い生きがいセミナー 「安曇野へのみち—古代から現代への道の変遷」	12月15日（金）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	豊科公民館	大人31

④熊倉公民館

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	歴史の中から人権を学ぶ講演会	8月27日（日）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	熊倉公民館	大人28

⑤安曇野市教育委員会

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	安曇野 戦争と平和展 ギャラリートーク	7月20日（木）	原 明芳 （豊科郷土博物館長）	安曇野市役所	大人15

⑥安曇野市環境課

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	環境課親子向け観察会	4月22日（土）	松田 貴子 （豊科郷土博物館職員）	明科せせらぎ	大人15 小人17
2	環境課親子向け観察会	9月30日（土）	松田 貴子 （豊科郷土博物館職員）	穂高 牧	大人14 小人15

参加者合計 266

(3) その他の出前講座・展示説明

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	安曇平の戦跡めぐり (平和憲法を生かす安曇の会主催)	5月3日(水)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	市内各地	大人18
2	ガールスカウト自然体験活動 自然観察	5月27日(土)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	穂高牧地区棚田 周辺	大人 8 小人 6
3	坂城町町立図書館 「バスで行く文書館」	7月7日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	大人29
4	昔の民具を使った回想法	7月19日(水)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	デイスサービス匠	大人20
5	信州歴史フォーラム「松本市域への航空部隊・機関の展開ー陸軍松本飛行場跡を中心に」	8月12日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	才教教育会館	大人48
6	第39回安曇野で道祖神を語る集い	8月26日(土) 8月27日(日)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	穂高神社参集殿 山形村・朝日村 現地	大人30 大人21
7	信教賛助会研修視察	9月29日(金)	原 明芳・宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人27
8	安曇誕生の系譜を探る会 安曇野歴史サロン9月例会 「満願寺・松尾寺・牛伏寺・若澤寺 安筑二郡の名刹四ヶ寺を探る」	9月30日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	穂高会館	大人46
9	理科同好会自然観察会 「長峰山に広がる草原の成り立ち」	10月7日(土)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	長峰山	大人 8
10	長野県立歴史館文献史料課	10月13日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	大人27
11	入山辺地区平和祈念式典 「入山辺地区の忠魂碑が今に伝えること」	10月20日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	入山辺公民館	大人41
12	安曇野市ミュージアム ギャラリートークリレー	11月3日(金) ～5日(日)	原 明芳・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人 8 小人 2

参加者合計 339

4 友の会活動

No.	講座名	会員数	活動回数	参加延べ人数	1回平均人数	企画展
1	書道部	14	52	501	9.6	1
2	絵手紙部	21	22	294	13.4	1
3	植物画部	19	26	317	12.2	1
4	山草部	16	4	25	6.3	1
5	写真部	6	(各自の活動)			1
6	戦時生活部	10	15	96	6.4	1
7	自然と暮らしの文化部	23	16	95	5.9	

No.	講座名	会員数	活動回数	参加延べ人数	1回平均人数	企画展
8	植物調査部	15	19	123	4.2	
9	郷土史部	23	12	86	7.2	
10	タカラさがし部	73	10	580	58	

参加者合計 2,117

- ※1 役員会・総会1回（4月14日）
- ※2 会報発行3回（No.128～130）
- ※3 美化活動2回（6月18日：参加者35名・7月29日：参加者27名）
- ※4 視察研修 実施せず

Ⅲ 写真でたどる年間活動

1 企画展

①夏季企画展「古代・中世の墓を覗（のぞ）く・・・人は死者をどう扱ってきたか・・・」

◆企画展シンポジウム
「安曇野の古墳をめぐって・・・群集墳て何？・・・」

◆企画展講座
「古代・中世の墓は何を語るのか・・・現在の、未来の墓を考えるヒント？・・・」



◆展示風景



◆企画展ギャラリートーク



◆企画展現地見学会



②春季企画展「はくせい動物園」

◆展示風景



◆生き物の切り紙とギャラリートーク



◆企画展トーク 丸山隆 動物写真家
「古くからの隣人『里山動物』」



◆企画展観察会 植松晃岳 信州野鳥の会会長
「アニマル・トラッキング」



2 友の会展

◆第39回山草・サクラソウ展 (山草部)



◆第18回ボタニカルアート展 (植物画部)



◆第37回写真展 (写真部)



◆第20回絵手紙展 (絵手紙部)



◆第9回戦時生活展（戦時生活部）



◆第69回新春書芸展（書道部）



3 ブックレット4 発刊記念講演会

◆いがりまさし 植物研究家 「海の向こうから見る日本の草原」



4 こたつ講座

◆松田貴子「信州の植物学の系譜～『らんまん』の時代の人々～」



◆倉石あつ子「イエジマイ・ハカジマイ」



◆逸見大悟『『叛逆』の武将？仁科道外
～戦国大名武田氏の安曇郡侵攻を軸として～』



◆窪田尚幸『『ハイトリック』ってなあに？
えっ、自動蠅獲器!?!』



◆宮本尚子『『食べる』から見る家族のかたち』



◆幅 拓也「空家今昔物語～空家の問題を紐解く」



◆原 明芳「絵地図から満願寺、そして牧村の謎に迫る」



5 ワークショップ・講座

◆裂き織りワークショップ



◆夏休みこども講座「切り絵」



◆「勾玉作り」



◆「藍の葉のたたき染め」



◆昔の暮らし体験教室 in 博物館



6 出前講座・展示説明

◆小学校クラブ活動支援



◆小学校クララ染め体験学習支援



◆中学校地域学習支援



◆昔の民具を使った回想法（ディサービス匠にて）



◆展示説明



7 友の会活動（友の会発表以外の部）

◆絵手紙部



◆植物画部



◆自然と暮らしの文化部によるインドアカネ染め



◆タカラさがし部による地域探検



◆植物調査部



8 その他

◆収蔵資料の燻蒸



◆美化活動



◆はとバス来館



IV 新市立博物館出前展示

博物館では平成28年度からテーマをコンパクトにまとめた出前展示を行っています。令和5年度は以下のようなテーマで展示を行いました。

事業	実績
安曇野の春の訪れⅡ	会期:3月30日(木)～5月30日(火)(60日(4月1日～)) 会場:ほりで一ゆ～四季の郷
安曇野を発展させた虫～家蚕と天蚕～	会期:5月31日(水)～7月31日(月)(61日) 会場:ほりで一ゆ～四季の郷
安曇野の戦争遺跡②・③	会期:7月22日(土)～8月31日(木)(41日) 会場:穂高神社御船会館
江戸時代を生きる～出来事を記録する古文書～	会期:8月1日(火)～9月29日(金)(60日) 会場:ほりで一ゆ～四季の郷
来た道～忘れられた感染症、銃後の守り～	会期:9月30日(土)～11月30日(木)(62日) 会場:ほりで一ゆ～四季の郷
安曇野から平和を思う	会期:10月26日(木)～11月9日(木)(15日) 会場:南安曇教育文化会館郷土文化財センター
白井吉見 その人その言葉	会期:11月11日(土)～11月12日(日)(2日) 会場:穂高神社(新そばと食の感謝祭)
「鐘の鳴る丘」と主題歌「とんがり帽子」	会期:12月6日(水)～令和6年1月31日(水)(57日) 会場:ほりで一ゆ～四季の郷
白井吉見 その人その言葉	会期:2月1日(木)～3月29日(木)(59日) 会場:ほりで一ゆ～四季の郷

V 学芸員実習の受け入れ

本年度の当館での学芸員実習の受け入れは3名でした。

展示概論として常設展示「安曇野の MATSURI」や企画展示「古代中世の墓を覗(のぞ)く…人は死者をどう扱ってきたか。…」の解説からスタートし、事務作業なども含めて博物館全体の業務や運営に関わる内容で実施しました。

具体的には、資料の保存、事務業務、友の会活動について学んだほか、講演会の準備作業や受付業務、フトン(資料梱包材)づくり、植物標本作製などの実習を行いました。また関連施設(資料館・文化財資料センター・文書館等)を見学するなど、安曇野市内の歴史民俗から自然まで幅広い分野にわたる実習となりました。



VI 調査研究・広報活動への取り組み

当博物館では、安曇野市内の自然や歴史、文化の価値をさらに深め、また新たな価値を見出していくために、調査研究を進めています。これらの成果は、博物館紀要や企画展を通じて広く安曇野市内外の

皆様にお伝えしています。

令和5年度の紀要第11号では、ゼンマイ仕掛けの蠅獲器「ハイトリック」を巻頭カラーで紹介し、4本の研究報告と2本の活動報告を行いました。

研究報告では「イエジマイ ハカジマイ」、「写真で見る安曇野の野良着～着物から洋装へ、さらに多様化する現在の野良着～」、「住吉神社の植物相と植生の変化」、「熊井啓と陸軍松本飛行場跡…社会派監督の原点は…」の4本について当館職員が執筆しました。

活動報告では、学校に関わる活動とこたつ講座について、具体的な事例を交えて報告しました。このような調査研究活動は、展示・講座などの博物館活動を支え、市民の学習・研究活動の支援につながっています。

また博物館では毎年ブックレットを発行しており、令和5年度は「絵図から安曇野の江戸時代をみる」と題し、さまざまな安曇野の絵地図を紹介し解説した内容となっています。さらにこのブックレットの内容は翌年令和6年度の企画展へとつながりました。

自然分野では、調査研究をもとに明科・長峰山の山頂草原に毎年6月下旬の草刈りを関係団体（行政、地元住民、市民団体等）とともに実施し、草原生態系の保全に寄与しています。

また館内外の活動を広く市民の方々に周知するために、ホームページでのお知らせ、市の広報誌等を利用した広報を行っています。企画展示や講演会等のイベントを実施した際には、新聞・放送関係をはじめとする取材対応を通じて館の活動を紹介しています。



Ⅶ 収蔵している資料の整理

資料の活用に向けて

安曇野市教育委員会所蔵の民俗資料は、旧三郷民俗資料館、旧堀金歴史民俗資料館、穂高郷土資料館、穂高文化財資料センター（旧明科歴史民俗資料館収蔵資料）、豊科郷土博物館に収蔵されています。令和5年度は、豊科郷土博物館1階収蔵庫及び旧堀金歴史民俗資料館の資料整理をしました。

博物館1階収蔵庫の収蔵資料は自然・歴史・民俗分野と多岐にわたります。令和5年度は、金属製の保管箱に収蔵されている歴史資料を整理し、中性紙のもんじょ箱へと移行する作業を中心に行い、保管場所などをデータベースに入力しました（約1200点）。整理した資料の一部は市文書館へも移行しました（約200点）。

また、昨年に引き続き旧堀金歴史民俗資料館での資料整理を行い、およそ200点の民俗資料を整理しました。これらの資料は今後活用に向け、データベースに状態や保管場所を入力しました。

自然分野では、学芸員による調査や友の会活動を通して植物標本を収集しています。これらはさく葉標本資料として博物館で保管し、データ化を進めています。令和4～5年度には安曇野市レッドデータブックの改訂が行われ、これらの標本は基礎資料データとして寄与しました。また令和5年度は



南安曇教育会から寄贈された標本のデータ化に着手し、およそ3,000点の標本について入力作業が終了しました。

今後も引き続き、資料整理を行い、資料活用の利便性を高めていきます。

Ⅷ 新たな収蔵資料

資料名	員数
学校登山・学校旅行資料	一式
南安曇郡誌植物調査資料	一式
昭和天皇来訪時写真	一式
マッチ箱カバーコレクション	一式
大正時代海外渡航申請書	一式
ランビキ	1点
『一新講社 道中寶鑑全』	1点
ニホンリスはく製	1点



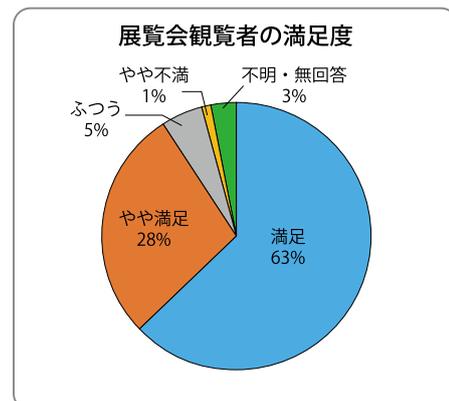
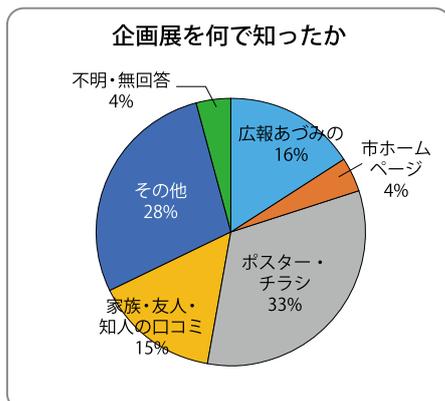
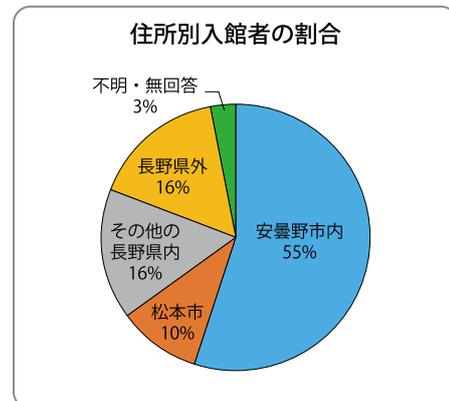
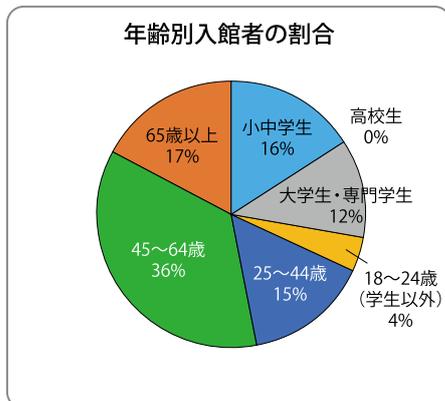
ランビキ

Ⅸ 当館に寄せられたみなさまのご意見

利用者の意見からみる外部評価

1 夏季企画展「古代・中世の墓を覗（のぞ）く・・・人は死者をどう扱ってきたか・・・」

①企画展アンケート回答者に見る入館者内訳



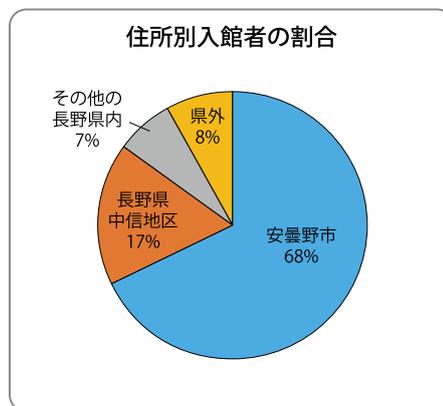
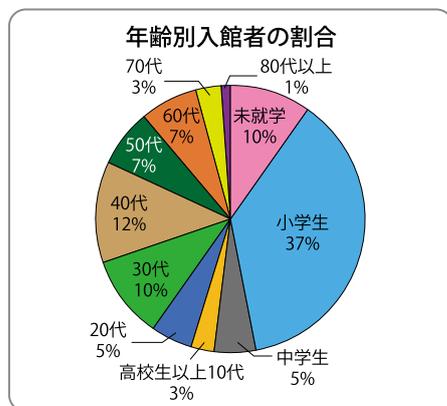
②主な感想より

- ・歴史の中で、数多くいるはずの死者の痕跡を感じさせるものは、街なかに殆どなく、この企画展を通して墓のあり方の変化や葬られ方について学びました。
- ・わかりやすい年代別の展示で過去から現在そして未来の私達を考えさせられました。
- ・“蓋をあけてみてください”実感できて良かった。
- ・安曇野に古墳があることを知ることができた。埋蔵品の展示が見ごたえあり！！
- ・改めて、自分が入る先祖のお墓に付いて、また、自分が入るお墓について、考えさせられました。
- ・安曇野市内でこんなにきれいな状態で食器も見つかると思いませんでした。
- ・古事記をよんで『『黄泉の国』って何だろう』と思ってここへきました。説明がよくてわかりやすかったです。
- ・パンフレットが他の博物館ではありえないくらい分厚く内容がまとまっていて驚いています。死者埋葬が時代と共にどう変化したのかわかり、とてもよい企画だった。江戸時代くらいなら墓という形が出来上がっていると思っていたが、そのうちに死者の存在が忘れ去られるくらいだったのは驚きだった。
- ・墓の意味を知ることができた。お墓まいりのときも、見たことを意識してお参りしたいと思った。あと時期に合った展示なのも良かったと思う。
- ・お墓に対する考え方が比較的新しいものだと知れて良かった。お墓に対する一般の人々の意識調査をされて、一緒に公開されると尚興味深くなると思えました。
- ・古墳だけの展示はあるが、近代までの墓についてはなかなかないので、興味深く見させてもらった
- ・フタを開けて骨があるという体験写真でもインパクトがあり良かったです。ポスター見て来ました。予備知識がないので、時代ごともう少し知りたいと思いました。違いや、変わっていく理由なども気になりました。現在の姿について考えるポイントの深め方もわかったら良かったです。
- ・お墓というものにフォーカスされているのも珍しく、自分の家の墓も今後どうしようか考えるところもあったので、古代からの位置づけの変化などを知ることができて、考え方の広がりにつながりました。
- ・古墳時代から現代までの時間軸を設けられて展示されていたことで、身近に感じました。自分もポチポチどうなることやら。
- ・遺物が大変見やすく展示されていてよかった。地図、説明文もわかりやすかったです。テーマが良かったです。古い時代のみ目がいきがちですが現代への繋がり変化を考えさせられました。
- ・墓や死者の扱いの変化から、人間が死をどのように捉え、考えたのか疑問に思う。それぞれの古墳の副葬品から、当時の食生活への興味がわいた。
- ・企画展の「墓」の歴史、いままであまり考えたこともなかった。切り口が興味深かった。各家に墓をもつことがたかだか100年くらいの歴史とは！というのが驚き！
- ・古代の古墳の出土器に割れていなくて形がしっかり残っているものを多出土していたということがわかったこと。
- ・「お墓」のことを地域の写真等含め、身近なこととしてわかりやすく古代～現在まで解説されていた。そして身近なことになったのはホンの100年くらいなのだと知った。“供養”も日本古来のものと思っていた。お墓だけでなく、いろいろなことをあらためて自分のこととして現在に生きるひとりとして捉えなおしてゆけたらと思いました。ありがとうございました。
- ・英語の説明もお願いします。
- ・小さい子どもがみやすいようにしたほうがいい。
- ・エレベーターを設置して頂けるとよいですね。
- ・漢字の読み方に「フリガナ」が欲しい。

- ・もっと広報した方がよいと思います。
- ・模型などあったらいいなと思いました（何分／1などで）。

2 春季企画展「はくせい動物園」

①アンケート回答者に見る入館者内訳



②興味を持った動物について

- ・ニホンアナグマは、冬毛と夏毛の剥製をならべてあり違いが良くわかる。わかりやすい説明文があり参考になった。その剥製動物の下の足跡など楽しい所が随所にある楽しめた。
- ・カラスなどの鳥の仮剥製は、足が縛ってあったり、白目をしていたり、展示の仕方も初めて見たやり方でおもしろかったです。
- ・ツキノワグマは、普段は人に恐れられていて近くで見られないけど、近くで見ると目、爪、口の中、体をしっかり観察できたので、また来たいと思いました。
- ・ニホンカモシカについて、“角は一生もの” オスもメスにも角がある、剥製でじっくり角のラインを見ることができました。単独行動だということも知らなかったです。山で2匹見かけたことがあって、あれは親子だったとわかりました。
- ・ニホンジカは、大きくて、角がりっぱでカッコ良い。昆虫の標本が、昔の93年前の貴重な標本が見れて良かった。近くで標本が見れて良かった。
- ・モモンガは、剥製を初めて見て、思ったより小さくてびっくりした。身近にいる野生動物がこんなにたくさんの種類がいるとは思わなかった。
- ・ハクビシンは、フンのにおいてコミュニケーションをとるのがおもしろかった。説明をみていると、外来種でも人間のすぐ近くで人間と一緒に生活しているということを知った。
- ・フクロウの羽根は細かく見たことがなかったので、面白かったです。各標本を子どもが指さしながら見て興味をもって刺激になって良かったです。
- ・20倍の顕微鏡でフクロウの羽根を観察できたのがおもしろかった。
- ・ホンドギツネやホンドタヌキは、動物園だと近くで観察が難しいことも多いため（眠っている、生態に配慮など）剥製で本物をまじまじと見られてよかった。また見たい。
- ・ムササビが本当に飛んでいるみたいに見えるところがすごかった！！ いろいろな動物の剥製に興味津々でした！！
- ・安曇野でヤベオオツノジカの角が発見され生息していたことにおどろいた。なぜ絶滅したのか知りたい。
- ・昆虫の標本 この周辺地域にこんなにも多くの種類のトンボがいた、というのがとてもおどろき！ 開発や乱獲によって絶滅した種もあるんでしょうね。フクロウの羽根の精巧なつくりのヒミツにもおどろき！

③展示について

- ・全体に子供も楽しめる展示でよかったです。また、このクイズ&アンケートを通してただ見るだけではなく、楽しみながら知識を得られるのもとても良かったです。
- ・動物それぞれの特徴や行動習性などわかりやすくまとめられていて関心をもてた。自分の住んでいる土地にこんなに多くの動物が住んでいるとは思わなかった。もっと、自然（生態系など）に目を向けてみようと思った。
- ・リスの剥製のまわりに落ち葉が敷きつめられていて雰囲気良かった。
- ・身近な野生動物が近くで見れたところが良かった。何を食べているのかサンプルを置いてあると子供達に分かりやすかった。コナラ・ブナ・ミズナラ・クヌギ、木の実もおもしろかった。
- ・野生動物を間近で見ることがないから、貴重な時間になりました。それぞれの動物の特徴がどれも深掘されていて「そうなんだ」「なるほど！」の連発でした。

X 博物館のこれから

春季企画展は、「わたしの野良着」であった。農作業などに着る野良着を取り上げ、その変化から、人々の暮らしや意識がどう移り変わったかを展示した。

展示した半世紀ほど前の農作業の写真を見ると、多くの人々、特に女性が働いている光景が目立った。中でも、苗の入ったびくを腰に、10人以上が一行に並んで田植えをしている姿、それも黙々というよりも、笑顔でおしゃべりをしながら手を動かしている姿は頼もしくもあり、おもわず微笑みたくなってしまう。農作業ではあるが、近所の人たちとの情報交換、コミュニケーションをとる重要な機会のようにみえる。私も、今から60年ほど前、6月の家の田植えのさいに、手伝ってくれる人たちのため、母が朝からたくさんのおにぎりを握り、私も近くの和菓子屋へ柏餅を買いに行かされたことを思い出す。作業が始まって一段落、一緒になっていただいた「お小屋」の時間が懐かしい。

現在、安曇野市には豊かに穂を垂れる、区画整理事業が終了した水田地帯が広がる。その風景の中を車を走らせ博物館に通勤している。ただ、働く人の姿をめったに見ることはない。田植機の時期は大きな田植機、稲刈りの時期はコンバインが動いている。同じ米を作っていても、60年前とは、取り巻く社会が大きく変わっている。

夏季企画展では「墓」を取り上げた。墓は、人を埋葬する物理的な場所ばかりではなく、継承する「イエ」の象徴でもあった。現在は、イエに対する意識が変わり、墓の姿が変化している。墓という側面からも、社会の状況が変わっていることがみえるのである。

博物館の活動は、ただ「もの」を取り上げるだけではない。そこから過去、現在、そして未来を考えるヒントを少しでも得られるものにしなればと、心がけている。

最後に、令和5年度春季企画展「はくせい動物園」。動物の剥製を中心に展示して、里山の自然に目を向けていただくという企画であった。実は、多くの動物の剥製が展示される機会もなく、収蔵庫に保管されていたのである。不足する資料は、烏川溪谷緑地からの借用で補い、企画展示室に里山風景を「復元」したのである。企画展がスタートすると、動物につられてか、子どもたちの来館が多く、加えて一緒に来館した若いお父さんやお母さんの姿も多く見られた。いつもの企画展とは全く異なる展示室の光景であった。さらに企画展をみた後、常設展に立ち寄って、親子で昔の遊びに興じてくれるのである。ある意味、博物館も企画さえしっかりすれば、多くの子どもたち、そしてその保護者たちに足を向けていただくことができると、自信もつことができた企画展であった。

安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科 4289 番地 8
TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772

公式サイト

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/museum/>

発行 令和6年9月30日